

農林水産統計

農林水産省大臣官房統計部

Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

平成15年10月28日公表

平成15年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

【調査結果の概要】

- 平成15年産水稻の作付面積（青刈り面積控除後）は166万haで、前年産に比べて2万3,000ha（1%）減少した。
- 10月15日現在における農業地域別の水稻の作柄は、北海道及び東北では太平洋側の地域を中心に、7月中・下旬の著しい低温の影響により不稔もみが多発したこと及び9月中旬以降の低温により登熟が著しく阻害されたことに加えて、いもち病が拡大したこと等から、作況指数（10a当たり収量平年対比）は73及び80が見込まれる。
また、その他の地域（沖縄を除く）では、6月中旬以降の日照不足の影響やいもち病が拡大したこと等により作況指数は93から96が見込まれる。
この結果、全国の作柄は作況指数90で、10a当たり収量は469kgが見込まれる。
- 以上の結果、予想収穫量は778万1,000tが見込まれる。

表 平成15年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

農業地域	作付面積	単位			10a 当たり 収 量	10a 当たり 平年収量	作 況 指 数	予想収穫量				
		作 付 面 積 : ha										
		10a 当たり収量・平年収量 : kg										
		予 想 収 穫 量 : t										
		前 年 産 と の 比 較	対 差	対 比 (%)								
全 国	1 660 000	△	23 000	99	469	524	90	7 781 000				
北 海 道	117 800	△	2 400	98	385	528	73	454 000				
東 北	428 700	△	6 500	99	445	554	80	1 906 000				
北 陸	210 500	△	3 100	99	504	529	95	1 061 000				
関東・東山	303 900	△	2 400	99	495	524	94	1 504 000				
東 海	107 700	△	1 300	99	469	498	94	505 400				
近 畿	114 700	△	1 400	99	479	501	96	549 200				
中 国	120 000	△	1 800	99	481	515	93	577 600				
四 国	59 000	△	700	99	466	483	96	275 200				
九 州	196 800	△	2 800	99	480	498	96	945 600				
沖 縄	1 050	△	20	98	314	311	101	3 300				

注：1） 作付面積は、青刈り面積控除後である。（以下の各表について同じ。）

2） 「△」は減少したことを示す。（以下の各表について同じ。）

【解 説】

- 1 平成15年産水稻の作付面積（青刈り面積控除後）は、166万haで、前年産に比べて2万3,000ha（1%）減少した。

これは、田本地面積のかい廃による減少や「水田農業経営確立対策」における生産調整対象水田面積の増加に伴い、作付けが減少したためである。

- 2 10月15日現在における水稻の作柄は、全国平均で作況指数90、10a当たり収量は469kgが見込まれる。

- 3 以上の結果、予想収穫量は778万1,000tが見込まれる。

- 4 農業地域別の10月15日現在における水稻の作柄は、北海道については7月中・下旬の著しい低温の影響により不稔もみが多発したこと及び9月中旬以降の低温により登熟が著しく阻害されたこと等から、作況指数73で、10a当たり収量は385kgが見込まれる。

東北は、太平洋側の地域及び秋田県、山形県の一部地域で7月中・下旬及び8月中旬の著しい低温の影響により不稔もみが多発したこと及び9月中旬以降の低温により登熟が著しく阻害されたことに加えて、いもち病が拡大したこと等から、各県の作況指数は、青森県53、岩手県73、宮城県69、秋田県92、山形県92、福島県89が見込まれ、東北平均で作況指数80の445kgが見込まれる。

関東以西では、6月中旬以降の日照不足等の影響により分けつが抑制されたことから総じてもみ数が平年並みないしやや少ないことに加え、低温・日照不足の影響により登熟が抑制されたこと及びいもち病が拡大したこと等から、北陸は95の504kg、関東・東山は94の495kg、東海は94の469kg、近畿は96の479kg、中国は93の481kg、四国は96の466kg、九州は96の480kgが見込まれる。

【統計表】

1 平成15年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、都道府県別）

単位 { 作 付 面 積 : ha
10 a 当たり収量・平年収量 : kg
予 想 収 穫 量 : t

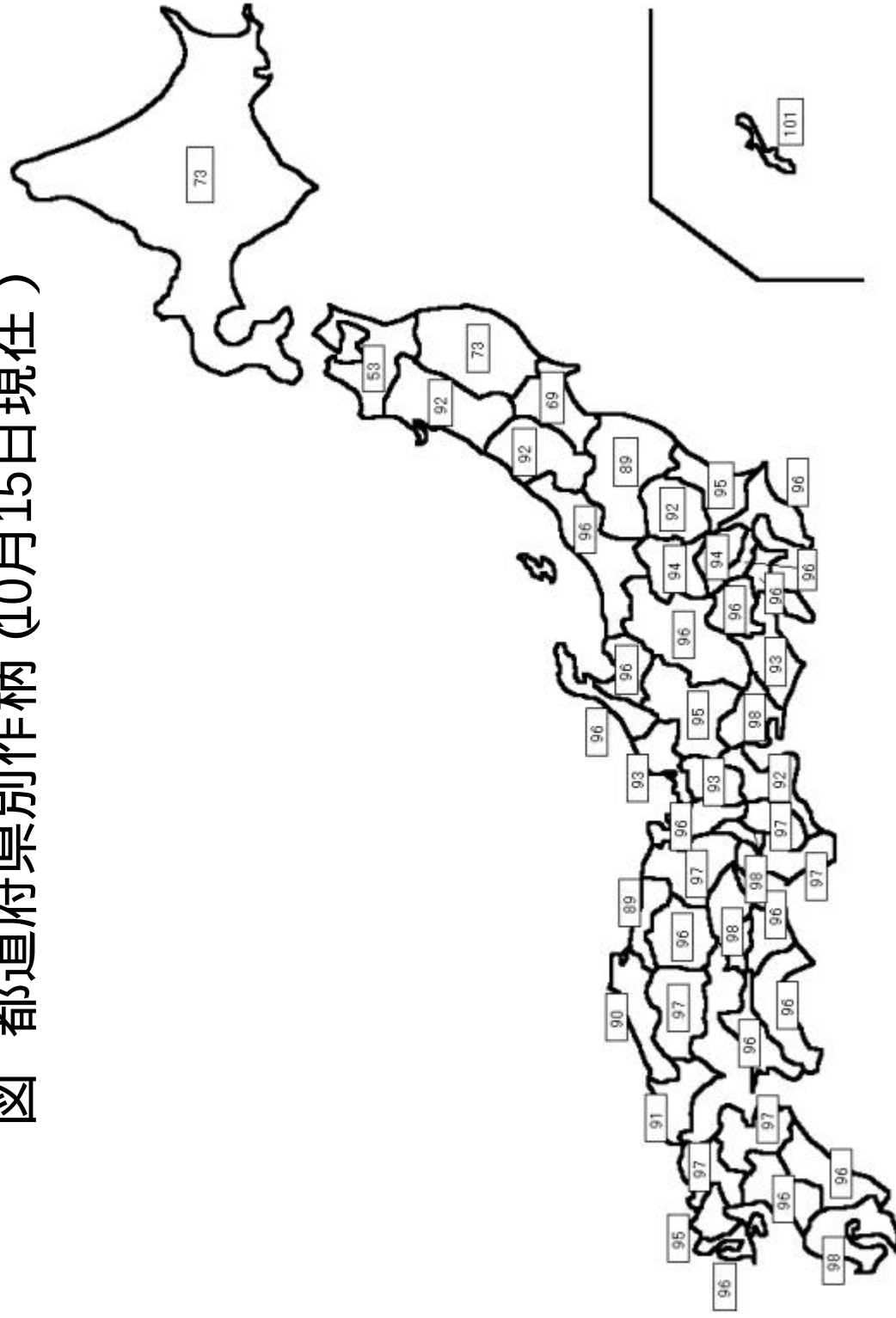
府 県	作 付 面 積	前 年 産 と の 比 較		10 a 当たり 収 量	10 a 当たり 平年収量	作況指数	予 想 収 穫 量
		対 差	対 比 (%)				
全 国	1 660 000	23 000	99	469	524	90	7 781 000
北 海 道	117 800	2 400	98	385	528	73	454 000
青 森	52 100	500	99	308	582	53	160 500
岩 手	58 600	1 500	98	387	527	73	226 800
宮 城	78 300	1 100	99	359	523	69	281 100
秋 田	90 400	1 700	98	530	573	92	479 100
山 形	69 100	1 400	98	547	593	92	378 000
福 島	80 200	300	100	474	532	89	380 100
茨 城	77 400	700	99	481	508	95	372 300
栃 木	65 300	1 300	98	485	528	92	316 700
群 馬	18 800	0	100	463	492	94	87 000
埼 玉	36 700	0	100	464	493	94	170 300
千 葉	61 300	0	100	498	521	96	305 300
東 京	214	8	96	377	394	96	807
神 奈 川	3 310	10	100	455	472	96	15 100
新 潟	116 200	1 500	99	512	536	96	594 900
富 山	40 400	600	99	506	528	96	204 400
石 川	26 100	500	98	493	516	96	128 700
福 井	27 800	500	98	480	516	93	133 400
山 梨	5 480	20	100	514	533	96	28 200
長 野	35 500	300	99	587	611	96	208 400
岐 阜	26 200	300	99	458	484	95	120 000
静 岡	18 400	200	99	482	521	93	88 700
愛 知	31 000	100	100	489	501	98	151 600
三 重	32 100	700	98	452	493	92	145 100
滋 賀	34 300	500	99	478	514	93	164 000
京 都	16 400	100	99	484	505	96	79 400
大 阪	6 440	70	99	471	479	98	30 300
兵 庫	39 800	700	98	479	495	97	190 600
奈 良	9 770	130	99	489	505	97	47 800
和 歌 山	7 870	30	100	471	487	97	37 100
鳥 取	14 100	200	99	464	520	89	65 400
島 根	20 300	200	99	454	503	90	92 200
岡 山	34 700	400	99	501	523	96	173 800
広 島	27 000	400	99	503	517	97	135 800
山 口	24 000	500	98	460	505	91	110 400
徳 島	14 100	200	99	453	472	96	63 900
香 川	15 300	200	99	489	499	98	74 800
愛 媛	16 200	200	99	478	496	96	77 400
高 知	13 500	0	100	438	456	96	59 100
福 岡	40 400	200	100	483	500	97	195 100
佐 賀	28 400	200	99	500	529	95	142 000
長 崎	14 200	200	99	448	468	96	63 600
熊 本	40 800	1 100	97	491	511	96	200 300
大 分	26 100	300	99	485	498	97	126 600
宮 崎	20 900	500	98	464	481	96	97 000
鹿 児 島	25 900	400	98	467	476	98	121 000
沖 縄	1 050	20	98	314	311	101	3 300

2 平成15年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

府 県	刈 取 期						刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較				対平年差
				対平年	対前年			
	月 日	月 日	月 日			%	ホ イト	
北 海 道	9. 24	10. 9	...	11日遅	5日遅	82		17
青 森	10. 5	10. 13	...	10日遅	6日遅	60		34
	10. 1	10. 11	...	8日遅	6日遅	73		20
	10. 3	10. 8	...	9日遅	9日遅	87		11
	9. 28	10. 7	...	7日遅	5日遅	94		5
	9. 29	10. 8	10. 15	10日遅	9日遅	95		5
秋 田	10. 4	10. 15	...	10日遅	10日遅	51		41
茨 城	9. 10	9. 21	10. 2	9日遅	6日遅	100		0
	9. 19	10. 2	...	5日遅	6日遅	92		3
	10. 3	...	...	...	...	39		19
	9. 7	9. 30	...	2日遅	3日遅	84		7
	8. 28	9. 9	9. 21	7日遅	6日遅	100		0
千 葉	10. 1	10. 11	...	3日遅	3日遅	79		12
	9. 26	10. 7	...	3日遅	2日遅	79		11
新 潟	9. 15	9. 29	10. 9	10日遅	10日遅	99		1
	9. 7	9. 22	9. 29	10日遅	10日遅	100		0
	9. 1	9. 18	9. 28	6日遅	9日遅	100		0
	8. 30	9. 14	9. 28	9日遅	12日遅	100		0
山 梨	9. 20	10. 7	...	4日遅	6日遅	83		7
	9. 23	10. 4	10. 14	2日遅	5日遅	95		2
岐 恵 三	9. 4	10. 4	...	1日早	並み	76		4
	9. 4	9. 30	...	3日遅	7日遅	85		3
	9. 1	10. 7	...	1日遅	6日遅	67		4
	8. 27	9. 7	9. 16	7日遅	7日遅	100		0
滋 賀	9. 8	9. 20	10. 6	11日遅	11日遅	100		0
	9. 12	9. 25	...	6日遅	7日遅	93		2
	9. 22	10. 12	...	並み	3日遅	74		5
	9. 12	9. 28	...	2日遅	6日遅	92		1
	9. 13	10. 11	...	2日遅	2日遅	66		7
	8. 28	9. 22	10. 15	1日遅	3日遅	98		1
鳥 取	9. 15	9. 29	10. 14	6日遅	11日遅	96		0
	9. 7	9. 22	10. 9	6日遅	10日遅	99		0
	9. 15	10. 11	...	3日遅	4日遅	61		3
	9. 6	9. 27	...	4日遅	7日遅	92		4
	9. 15	9. 29	...	3日遅	5日遅	89		5
徳 島	8. 12	8. 24	9. 3	4日遅	7日遅	100		0
	8. 26	9. 14	10. 14	並み	5日遅	97		1
	8. 30	10. 3	...	2日遅	4日遅	82		11
	8. 25	9. 25	...	1日早	4日遅	92		2
	7. 29	8. 12	8. 24	5日遅	6日遅	100		0
香 川	9. 22	10. 2	...	3日遅	2日遅	91		1
	8. 29	10. 4	...	1日早	1日遅	83		4
	9. 2	10. 8	...	2日早	並み	75		8
	8. 24	10. 10	...	4日遅	4日遅	71		4
	8. 19	10. 7	...	1日遅	3日遅	71		1
大 分	9. 18	...	...	...	...	49		10
	7. 24	7. 28	8. 4	4日早	並み	100		0
	9. 30	10. 14	...	2日遅	2日遅	57		9
鹿 児 島	7. 21	7. 28	8. 7	3日早	3日遅	100		0
	10. 3	10. 13	...	並み	並み	60		5
沖 縄	6. 6	6. 20	7. 15	3日早	1日遅	100		0
	...	...	...	...	...	...		...

注：刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

図 都道府県別作柄（10月15日現在）



注 西温暖地の早期栽培の地域（徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県）は早期栽培（第一期稲）普通栽培（第二期稲）を合わせたものである。

【参考 1】

平成15年産水稻の主な地帯別の作況指数（10月15日現在）

府 県 (作 況 指 数)	地 帯	作況指数	府 県 (作 況 指 数)	地 帯	作況指数
北 海 道 (7 3)	狩 知	7 5	千 葉 (9 6)	京 葉	9 6
	石 空	7 9		東 下	9 4
	上 川	7 7		九 十 九	9 6
	留 萌	8 8		外 房	9 6
	渡 島	4 4			
	檜 山	4 3		新 潟	9 6
	後 志	5 7		(9 6)	
	胆 振	4 4		下 越	9 7
青 森 (5 3)	日 高	3 5		中 越	9 5
				魚 沼	9 7
				上 越	9 2
岩 手 (7 3)	青 森	5 3		佐 渡	9 5
	津 軽	7 1	富 山 (9 6)	東 部	9 5
	南 部 ・ 下 北	1 4		西 部	9 6
北 上 川 上 流 (7 3)	北 上 川 下 流	7 4			
	北 上 川 南 部	7 7	石 川 (9 6)	加 賀	9 6
	東 南 閉 伊 部	7 0		能 登	9 5
	下 北 部	5 3	福 井 (9 3)	嶺 北	9 3
	北 部	3 6		嶺 南	9 0
宮 城 (6 9)	南 部	5 9	山 梨 (9 6)	国 中	9 7
	中 部	6 6		郡 内	9 5
	北 部	6 9	長 野 (9 6)		
	東 部	7 8		東 信	9 9
秋 田 (9 2)	県 中	8 8		南 信	9 3
	県 中	9 4		中 信	9 7
	県 南	9 4		北 信	9 6
山 形 (9 2)	村 山	9 2	岐 阜 (9 5)	西 南	9 6
	最 上	8 7		中 濃	9 3
	置 賜	9 3		東 濃	9 5
	庄 内	9 4		飛 騨	8 9
福 島 (8 9)	中 通	8 7	静 岡 (9 3)	東 部	9 3
	浜 通	8 2		中 部	9 3
	会 津	9 8		西 部	9 3
茨 城 (9 5)	北 部	9 2	愛 知 (9 8)	尾 張	9 8
	鹿 行	9 5		西 三	9 7
	南 行	9 6		東 三	9 7
	西 部	9 5			
栃 木 (9 2)	北 部	9 1	三 重 (9 2)	北 勢	9 2
	中 部	9 1		中 勢	9 3
	南 部	9 5		南 勢	9 4
群 馬 (9 4)	中 毛	9 5	滋 賀 (9 3)	伊 賀	8 7
	北 毛	9 3			
	東 毛	9 4		湖 南	9 4
埼 玉 (9 4)	東 部	9 4	京 都 (9 6)	湖 北	9 1
	西 部	9 3		南 部	9 6
				北 部	9 5

平成15年産水稻の主な地帯別の作況指数（10月15日現在）（つづき）

府 県 （ 作 況 指 数 ）	地 帯	作況指数	府 県 （ 作 況 指 数 ）	地 帯	作況指数
兵 庫 （ 9 7 ）	県 南 県 北 淡 路	9 7 9 4 9 8	佐 賀 （ 9 5 ）	佐 賀 松 浦	9 5 9 2
和 歌 山 （ 9 7 ）	紀 北 紀 中 紀 南	9 8 9 6 9 4	長 崎 （ 9 6 ）	西 彼 東 南 県 部 五 北 苓 島 岐 ・ 対馬	9 8 9 7 9 6 8 8 9 2
鳥 取 （ 8 9 ）	東 部 西 部	8 8 9 0	熊 本 （ 9 6 ）	県 北 阿 蘇 県 南 天 草	9 7 8 7 9 8 9 7
島 根 （ 9 0 ）	出 雲 石 見	9 2 8 8	大 分 （ 9 7 ）	北 部 湾 岸 大 野 ・ 直入 南 部 日 田	9 9 9 7 9 8 9 8 9 4
岡 山 （ 9 6 ）	南 部 中 北 部	1 0 0 9 0	宮 崎 （ 9 6 ）	広 域 沿 海 広 域 霧 島 西 北 山 間	9 5 9 8 9 8
広 島 （ 9 7 ）	南 部 北 部	9 9 9 6	早期栽培 （ 9 3 ）	広 域 沿 海 広 域 霧 島 西 北 山 間	9 3 9 7 9 7
山 口 （ 9 1 ）	東 部 西 部 長 北	9 2 9 1 9 0	普通栽培 （ 9 8 ）	広 域 沿 海 広 域 霧 島 西 北 山 間	9 9 9 8 9 8
徳 島 （ 9 6 ）	北 部 南 部	9 6 9 5	鹿 児 島 （ 9 8 ）	薩 摩 半 島 出 水 薩 摩 伊 佐 始 良 大 隅 半 島 熊 毛 ・ 大 島	9 7 9 8 1 0 0 9 7 9 4
早期栽培 （ 9 6 ）	北 部 南 部	9 7 9 5	早期栽培 （ 9 3 ）	薩 摩 半 島 出 水 薩 摩 伊 佐 始 良 大 隅 半 島 熊 毛 ・ 大 島	9 5 9 2 9 1 9 1 9 4
普通栽培 （ 9 6 ）	北 部 南 部	9 6 9 6	普通栽培 （ 1 0 0 ）	薩 摩 半 島 出 水 薩 摩 伊 佐 始 良 大 隅 半 島 熊 毛 ・ 大 島	9 9 9 9 1 0 0 1 0 2 1 0 1
愛 媛 （ 9 6 ）	東 予 中 予 南 予	9 6 9 6 9 7			
高 知 （ 9 6 ）	安 芸 中 央 幡 多	9 7 9 7 9 4			
早期栽培 （ 9 5 ）	安 芸 中 央 幡 多	9 6 9 6 9 2			
普通栽培 （ 9 8 ）	安 芸 中 央 幡 多	9 8 9 8 9 8			
福 岡 （ 9 7 ）	福 岡 北 九 州 ・ 豊 前 筑 豊 北 筑 後 南 筑 後	9 7 9 5 9 6 9 6 9 8			

【参考 2】

平成15年産水稻の品種産地別作柄（10月15日現在）

品 種	産 地	作 況 指 数	品 種	産 地	作 況 指 数
コシヒカリ	新 潟	9 6	あきたこまち	秋 田	9 2
	茨 城	9 5		岩 手	7 1
	栃 木	9 1		山 形	8 3
	福 島	9 3		長 野	8 6
	千 葉	9 6	きらら397	北 海 道	7 2
	富 山	9 6			
	三 重	9 2	キヌヒカリ	滋 賀	9 1
	長 野	9 8			
	石 川	9 6	は え ぬ き	山 形	9 3
	福 井	9 2			
	島 根	9 0	ほしのゆめ	北 海 道	7 6
	滋 賀	9 1			
	宮 崎	9 3	つがるロマン	青 森	6 6
	愛 知	9 6			
	鳥 取	9 0	ササニシキ	宮 城	6 9
	山 口	8 8			
	徳 島	9 6	ゆめあかり	青 森	3 6
	岐 阜	9 4			
	高 知	9 6	日 本 晴	滋 賀	9 7
	熊 本	9 0			
ひとめぼれ	香 川	9 7	ハナエチゼン	福 井	9 6
	岡 山	9 1			
			夢 つ く し	福 岡	9 5
	宮 城	6 9			
	岩 手	7 9	むつほまれ	青 森	5 0
ヒノヒカリ	福 島	8 3			
	山 形	9 7	ハ ッ シ モ	岐 阜	9 8
	山 口	9 1			
	鳥 取	8 7	ふさおとめ	千 葉	9 4
	大 分	9 7	ア ケ ボ ノ	岡 山	1 0 0
	福 岡	9 7			
	熊 本	9 8	森のくまさん	熊 本	9 7
	佐 賀	9 6			
	宮 崎	9 8			
	岡 山	1 0 0			
	山 口	9 6			
	香 川	9 9			

注：自主流通米価格形成センターにおいて平成15年産に上場された銘柄のうち主なものを掲載した。

【参考 3】

平成15年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10 a 当たり収量内訳
(全国農業地域別概数値)

この調査における収穫量は、「飯用に供し得る米」として原則として目幅1.70mmのふるい目を用い選別した玄米の量としている。ただし、被害粒等の混入が多く、収量基準である農産物検査規格3等の品位に達しない場合は、被害粒等を控除する方法により再選別した玄米の量としている。一方、農家等が選別に用いるふるい目幅は産地、品種等により異なる。

参考までに刈取済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合と、10 a 当たり収量内訳の調査が完了したものについて集計して概数値を示すと次のとおりである。なお、本年産においては、北海道及び東北の太平洋側の地域を中心に未熟粒・被害粒等の混入が多く、再選別を行った割合が多かったことから、再選別前の結果と後の結果のふるい目幅重量分布状況を併記した。

区 分 農業地域		合 計	ふ る い 目 幅					
			2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
全 国	再選別前	100.0	59.6	28.5	5.5	3.4	1.8	1.2
	重量割合再選別後	100.0	60.1	28.4	5.4	3.2	1.8	1.1
	平均対差		7.4	5.8	1.0	0.4	0.2	0.0
	(収量内訳)	(469)	(281)	(133)	(26)	(15)	(8)	(6)
北 海 道	再選別前	100.0	57.9	29.4	5.2	4.4	2.0	1.1
	重量割合再選別後	100.0	61.2	30.0	4.3	2.8	1.1	0.6
	平均対差		7.6	7.2	1.3	0.1	0.4	0.4
	(収量内訳)	(385)	(236)	(116)	(17)	(11)	(4)	(2)
東 北	再選別前	100.0	58.7	29.0	5.9	3.5	1.8	1.1
	重量割合再選別後	100.0	60.0	28.5	5.7	3.2	1.7	0.9
	平均対差		12.4	9.5	2.0	0.8	0.2	0.1
	(収量内訳)	(445)	(267)	(127)	(25)	(14)	(8)	(4)
北 陸	本年値	100.0	59.9	29.1	5.1	3.2	1.6	1.1
	重量割合平均対差		16.0	11.5	2.1	1.4	0.6	0.4
	(収量内訳)	(504)	(302)	(147)	(26)	(16)	(8)	(6)
関東・東山	本年値	100.0	51.7	34.0	6.9	3.9	2.1	1.4
	重量割合平均対差		4.0	4.1	0.5	0.1	0.2	0.3
	(収量内訳)	(495)	(256)	(168)	(34)	(19)	(10)	(7)
東 海	本年値	100.0	67.9	21.7	4.7	2.7	1.7	1.3
	重量割合平均対差		2.3	1.2	0.4	0.4	0.1	0.2
	(収量内訳)	(469)	(318)	(102)	(22)	(13)	(8)	(6)
近 畿	本年値	100.0	65.8	23.6	4.1	3.2	1.9	1.4
	重量割合平均対差		3.0	1.6	0.4	0.4	0.3	0.3
	(収量内訳)	(479)	(315)	(113)	(20)	(15)	(9)	(7)
中 国	本年値	100.0	65.8	24.0	4.4	3.0	1.6	1.2
	重量割合平均対差		7.5	4.8	1.1	0.8	0.6	0.2
	(収量内訳)	(481)	(316)	(115)	(21)	(14)	(8)	(6)
四 国	本年値	100.0	61.6	26.7	6.0	2.5	2.1	1.1
	重量割合平均対差		1.0	0.7	0.1	0.2	0.1	0.1
	(収量内訳)	(466)	(287)	(124)	(28)	(12)	(10)	(5)
九 州	本年値	100.0	61.8	27.2	5.2	2.9	1.8	1.1
	重量割合平均対差		3.2	0.8	0.7	0.8	0.5	0.4
	(収量内訳)	(480)	(297)	(131)	(25)	(14)	(9)	(5)

- 注：1 平均対差に用いた平均値は、直近3カ年の重量割合の平均値である。
2 収量内訳の合計は、全国及び各農業地域の10 a 当たり収量である。
3 北海道及び東北以外の地域においても、ごく限られた標本で再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

【参考 4】

北海道・東北地域における平成15年産水稻
作況標本筆の刈取り結果(10a 当たり玄米重)
(主な地帯別/10月15日現在)

府 県				10 a 当たり玄米重 (k g)		
北 海 道				0	~	706
	石	狩		182	~	540
	空	知		171	~	706
	上	川		62	~	627
	留	萌		91	~	615
	渡	島		0	~	415
	檜	山		21	~	435
	後	志		32	~	590
	胆	振		28	~	492
青 森	日	高		32	~	377
	森			0	~	687
	青	森		0	~	499
	津	軽		0	~	687
岩 手	南	部	・ 下 北	0	~	474
	手			0	~	636
	北	上	川 上	0	~	636
	北	上	川 下	0	~	607
	東	南	部	0	~	511
	下	閉	伊	0	~	371
宮 城	北		部	0	~	398
	城			0	~	572
	南		部	0	~	516
	中		部	100	~	543
	北		部	0	~	543
秋 田	東		部	125	~	572
	田			139	~	727
	県		北	195	~	682
	県	中	央	362	~	714
山 形	県		南	139	~	727
	形			151	~	787
	村		山	215	~	787
	最		上	195	~	649
	置		賜	151	~	746
福 島	庄		内	360	~	726
	島			0	~	718
	中	通	り	0	~	692
	浜	通	り	37	~	569
	会		津	232	~	718

注：1 10a 当たり玄米重とは、作況標本筆(調査を実施するほ場)において刈取り実測を行った結果であり、通常コンバイン刈りによって生じる収穫ロスを加味していない数値である。

2 また、10a 当たり玄米重については、所定の選別基準であるふるい目幅1.7mm以上で選別した結果に基づくものである。(ただし、「飯用に供し得る米」としての基準の品位(農産物検査規格3等)に達しないため再選別を行った場合は再選別後の玄米重による。)

【参考 5】

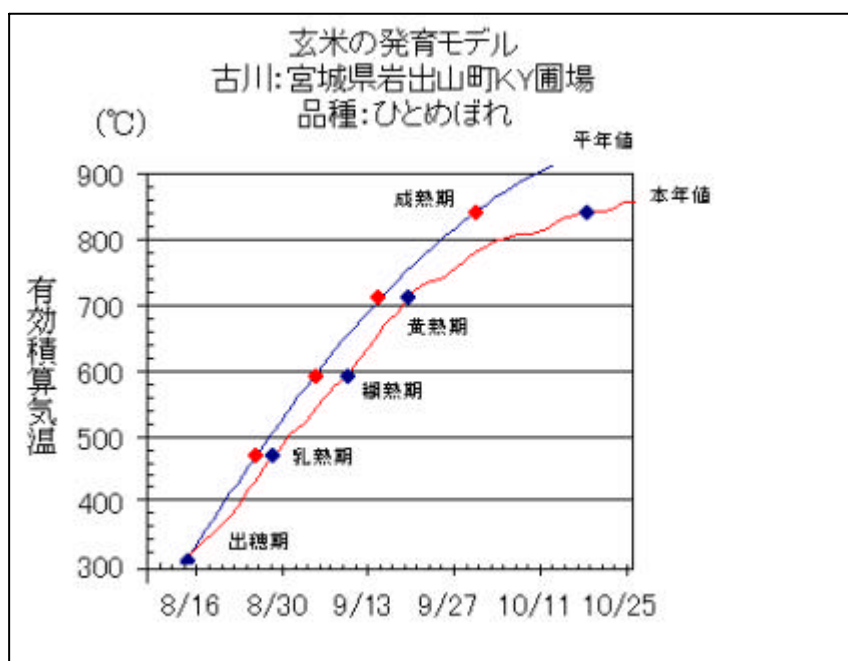
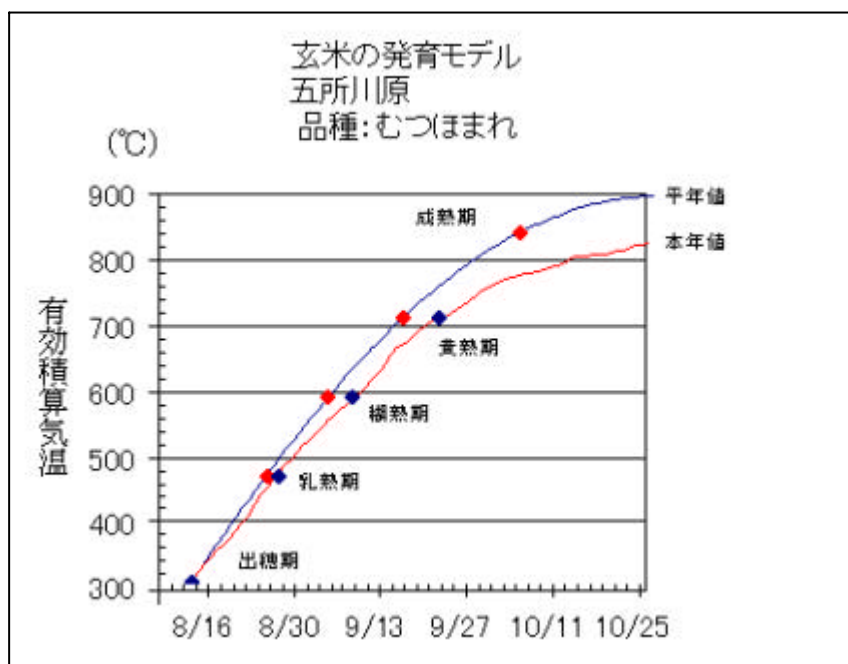
玄米の発育ステージの予測モデル

以下に示した玄米の発育ステージの予測モデルは、(独)農業技術研究機構東北農業研究センターの「水稻冷害早期警戒情報」のホームページで公開されているものから、低温等の影響の大きかった県の地点を抜粋し一部加工して掲載したものである。

この予測モデルは、本年産の出穂日を基点として、日平均気温10 以上の有効積算気温((日平均気温-10)の積算値)を用いて、玄米の主な発育ステージを推定したものである。具体的には、本年産の出穂日以降の日平均気温の推移を平年並みとした場合と本年の実際の平均気温による有効積算気温を図示し、玄米の発育ステージを比較したものである。

また、縦軸の基点を300 としているのは、幼穂形成期から出穂期の有効積算気温が310 と設定された予測モデルであることによる。

なお、この件に関する詳細については、「水稻冷害早期警戒システム」(<http://www.tohoku.affrc.go.jp/cgi-bin/reigai.cgi>) をご覧下さい。



【利用上の注意】

- 1 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取実測により行ったが、収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。
- 2 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり(予想)収量の比率である。
- 3 予想収穫量には、加工米、需要開発米等を含む。
- 4 全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所 属 都 道 府 県 名
北 海 道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関 東 ・ 東 山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖 縄	沖縄

- 5 統計数値のラウンド方法は、次のとおりである。

なお、計と内訳が一致しない場合があるのは、ラウンドのためである。

原数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1 000)	3けた以下 (100)
ラウンドするけた(下から)	3けた	2けた		1けた	ラウンドしない
例 ラウンドする前(原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
ラウンドした数値(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

連絡先：農林水産省 大臣官房 統計部 生産流通消費統計課

面積統計班 電話(代表) 03 (3502) 8111 内線2828

普通作物統計班 " 内線2831

(直通) 03 (3591) 4604

この資料は、農林水産省ホームページ【 <http://www.maff.go.jp/> 】
の「施策の動き・情報 >> 統計データ」で御覧いただけます。